



# 高学年に 学年担任制 を導入します



## 1 学年担任制とは何ですか

学級担任を一人に固定せず、複数の職員で担う仕組みです。  
学年職員がチームとなって各学級をローテーションして支援します。

<具体例>

学年職員が1～3週間交代で、朝の会や帰りの会、給食指導を実施  
教員の得意分野を生かした交換授業や教科担任制の導入

## 2 なぜ導入するのですか

(1)これからの時代を生きていくために必要となる「自分で考え、自分で行動する力」を育成するためです。学級担任主導で学級を創造していくのではなく、児童が主体となって学級・学年・学校・社会を創る意識を高めます。

(2)児童や保護者が聞きたい内容やその時の気持ちによって、相談する職員を選ぶことができるため、安心感につながります。ベテラン・中堅・若手等の職員それぞれのよさや強みを生かすことで、「児童への支援がより充実」します。

(3)教科担任制も導入することにより、職員の授業の専門性が高まり、「授業の質の向上」につながります。

## 3 Q&A

Q:本校ではどのように導入しますか

A:1・2年生は、担任と関わる時間を多く設定して学校生活に慣れるため、従来の学級担任制とします。5・6年生は学年担任制、3・4年生は徐々に学年担任制に移行します。はまのこ学級は従来通りです。

Q:担任は誰になりますか

A:便宜上、学年職員のうちから学級に担当者をおきますが、どの職員も学年全体の指導にあたります。

Q:保護者は、誰に相談や連絡をすればいいですか

A:学年職員の中から指名していただいても、「5年生の先生お願いします」でも大丈夫です。保護者面談は、便宜上、学級に担当者を決めていますので、特に希望がなければ、担当者が行います。

### 学年担任制 vs 学級担任制 (簡単な比較表)

#### 【学年担任制】

【特徴】

学年全体を複数の先生で担当

教科担任制



メリット  
・多角的な視点で見守る  
・先生同士で協力

・相談内容によって児童が先生を選択できる  
・元担任の先生が増える

#### 【学級担任制】

【特徴】

1人の担任がクラス全体を担当

主な教科を1人の先生が教える



メリット  
・信頼関係が深まる

・低学年児童にとって、一人の担任が一日関わることで、安心して学校生活に慣れる  
・相談先が明確

生成AIにて作成